食に関する指導の全体計画①　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　小学校(単独校)例

【第４次食育推進基本計画】

・朝食を欠食する子供の割合　０％

・栄養教諭による地場産物に係る食に関する指導の平均取組回数　月１２回以上

【第四次福島県食育推進計画】

・肥満傾向児出現率の全国平均との比較値　１１２．０％

【○○市教育委員会指導方針】

**学校教育目標**

自ら学び

心豊かで

たくましい子どもの育成

【児童の実態】

・朝食を欠食する子がいる。　　　　2.3％

・朝食の野菜摂取者が少ない。　54.7％

・朝食の汁物摂取者が少ない。 50.9％

・給食の残食が多い。　残食率　　5.7％

・肥満傾向児が多い。　出現率　16.3％

【保護者・地域の実態】

・昼食以外の共食の割合が低い。 79.7％

|  |
| --- |
| **食に関する指導の目標** |
| **（知識・技能）**　食事を楽しむことは、心を豊かにし、持てる力を十分に発揮するために重要であることを理解し、望ましい栄養や食事のとり方とともに手洗いやよく噛むことなど健全な食生活に必要な技能を身に付けている。 |
| **（思考力・判断力・表現力等）**　栄養や食事のとり方について自分の食生活との関わりを見つめ、健康な生活を実現するために何が必要か考え、正しい知識・情報に基づき適切に意思決定して行動できる。 |
| **（学びに向かう力・人間性等）**主体的に健康な食生活を実現しようとし、食や食文化、食料の生産等に関わる人々に対して感謝する心を育み、食事のマナーや食事を通じたコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 |

**食育の視点**

◇食事の重要性

◇心身の健康

◇食品を選択

する能力

◇感謝の心

◇社会性

◇食文化

**ふくしまっ子**

**食育指針**

**〈**福島県教育委員会〉

◆　食べる力

◆　感謝の心

◆　郷土愛

**重点目標**

朝食で野菜、汁物を食べる子どもを増やす

|  |
| --- |
| **各学年の食に関する指導の目標** |
| １、２年 | ３、４年 | ５、６年 |
| ・友だちとなかよく給食を楽しみ、よい姿勢で食べることができる。・好き嫌いせずに食べることの大切さを考えることができる。・協力して食事の準備や後片付けができる。 | ・楽しく、よく噛んで食事をすることが心身の健康に大切なことがわかる。・健康に過ごすことを意識して、好き嫌いせずに３食規則正しく食べようとすることができる。・食事のマナーやあいさつで食に関しての感謝の気持ちを表現することができる。 | ・心身の健康の保持増進には、１日３食の栄養バランスのよい食事摂取が大切であることが理解できる。・食品をバランスよく組み合わせて簡単な献立を立てることができる。・自分の食生活を見つめ直し、よりよい食生活を実践してみようとする。 |

|  |
| --- |
| 幼稚園保育所 |
| 連携を深め、食に関する指導内容、子どもの実態について共通理解を図る。 |

|  |
| --- |
| 中学校 |
| 小中連携事業等を活用して、生徒の生活習慣、健康状態、食育の内容等を把握し、連携に努める。 |

**食育推進組織（校内保健委員会）**

委員長 ： 校長、副委員長 ： 教頭　　　　　　　　　※ 必要に応じて、保護者代表、学校医・学校歯科医・学校薬剤師の参加

委　員 ： 教務主任、保健主事、養護教諭、学年主任、給食主任（食育コーディネーター）、栄養教諭、体育主任、学級担任

**食に関する指導**

教科等における食に関する指導 ： 関連する教科等において食に関する指導の視点を位置付けて指導

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　社会、理科、生活、家庭、体育、道徳、総合的な学習の時間、特別活動　等

給食の時間における食に関する指導 ：　食に関する指導：献立を通して学習、教科等で学習したことを確認

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　給食指導：準備から片付けまでの一連の指導の中で習得

個別的な相談指導 ： 肥満・やせ傾向、食物アレルギー・疾患、偏食、スポーツ　等

**地場産物の活用**

物資選定委員会（給食担当者会議） ： 年３回、構成委員（給食センター所長、校長、給食主任、養護教諭、栄養教諭）

地場産物を使用した給食の校内放送や指導資料を使用した給食時の指導の充実、教科等の学習や体験活動と関連を図る。

**家庭・地域との連携**

学校だより、食育だより、保健だより、ホームページ、自分手帳、学校給食試食会、家庭教育学級、学校保健委員会、

新入生保護者説明会、講演会、自治体広報誌、公民館活動、生産者団体、地域保健委員会

**食育推進の評価**

活動指標 ： 給食時間、教科等において計画的に食に関する指導ができたか。献立を通して３回の食事の重要性を指導できたか。

　　成果指標 ： 朝食を食べる(1)、朝食で野菜を食べる(2)、朝食で汁物を食べる児童の割合を増やす。(3)

　　　　　　　　地場産物を活用した食に関する指導(4)

　　　　　　　　(1)　97.7％ → 98.8％　　(2) 54.7％ → 60.5％　 　(3) 50.9％ →56.6％　　　　(4)月12回